

研究課題名	母指 CM 関節症患者を対象とした中手骨骨切り術の後方視的観察研究
研究実施機関および研究責任者	さいたま赤十字病院 整形外科 副部長 白川 健
研究代表施設および代表研究者	さいたま赤十字病院(当院単独) 整形外科 副部長 白川 健
研究期間	承認後 ～ 2024 年 12 月 31 日
研究の目的と意義	母指 CM 関節症の患者数は高齢社会化に伴い年々増加しており、全国で推計 270 万人にもものぼります。保存治療で改善しない場合には手術治療が考慮されますが、母指 CM 関節症の対する手術方法は様々で、ゴールドスタンダードと言われる方法は未だにありません。中手骨骨切り術は残存する軟骨を利用する方法で、関節を温存するとともに、将来的な再変形の予防が期待できます。しかしながら、画像(レントゲン・CT)上の亜脱臼改善効果については十分に解明されていません。これらを明らかにすることを目的とし、母指 CM 関節症における中手骨骨切り術の画像所見を中心に、後方視的に解析・検討します。
本研究の対象となる方	当院において 2018 年 1 月から 2021 年 12 月までに、母指 CM 関節症の診断にて母指中手骨骨切り術を行った患者様。
使用する情報	年齢、性別、画像(レントゲン、CT)、臨床評価テスト(疼痛、握力、ピンチ力)
研究内容	介入・侵襲を伴わない後ろ向き観察研究
個人情報の取り扱い	研究対象者の個人情報保護のため、個々の研究対象者の識別には個人情報の要素が含まれない識別コードを用い、個人情報を保護する。研究結果の公表においても、身元を特定できる情報は一切公表せず保護される。
問い合わせ先(拒否等の受付窓口)	所属：さいたま赤十字病院 整形外科 副部長 氏名：白川 健 住所：埼玉県さいたま市中央区新都心 1 番地 5 電話番号：048-852-1111 (代表)